

起案 令和6年 9月 6日
決裁 _____

教育長	部 長	課 長	副課長	室 員	担当

事業実施結果報告書

令和6年度 ゆうごうセミナー（紫波町立紫波第一中学校1学年）

期 日：令和6年9月2日（月）

時 間：8：30～12：30

会 場：紫波町立紫波第一中学校 他

1 目 的

地域で活躍するいろいろな分野の指導者と交流し、様々な活動について体験的に学ぶことで、地域の良さや地域との繋がりを感じることで、参加した生徒の地域愛を育む。

2 対 象

紫波町立紫波第一中学校 1学年 214名

3 内 容

（1）講座一覧

No.	講座名	講 師	会場	人数	内 容
1	秋祭りの舞台裏を体験しよう	大野 恭裕	秋祭り山車小屋 (日詰町内)	15	秋祭り山車小屋(4小屋)を巡り、由来や制作について学ぶ
2	郷土芸能平沢鹿子踊りを体験	藤尾 正弘	紫波一中 第2体育館	5	郷土伝統芸能を体験(演舞・太鼓・衣装)する
3	「講談」を体験しよう	岡村 日出子	古館公民館 和室	10	講談の発声法や所作を学び、はりせん作成して講談を行う
4	酒蔵を巡り、酒かすケーキをつくる	及川 麻実 (有)月の輪酒造	古館公民館 月の輪酒造蔵	15	酒蔵を巡り酒かすの効用を学び、酒かすケーキをつくる
5	MY カップを作ろう	村木 茂	紫波一中 図工室	15	コーヒーカップ(南部岩泉焼陶芸)づくり
6	フォトフレームをつくらう	八重樫 慎	八重樫建具	10	建具づくりの技術を学び、フォトフレームづくりを体験
7	藍染オリジナルハンカチをつくらう	根子 精郎	根子の染物屋工 房	10	藍染づくりを体験することで、藍染の歴史を学ぶ
8	"伝統工芸「木目込み人形」	佐々木 房子	紫波一中 1年教室	9	伝統工芸について理解し、木目込み人形制作を体験する
9	いわて発マールアート体験	坂野 由美	紫波一中	11	岩手で生まれたマールアート制作を体験する

10	タイルアートでデザインしよう	久慈 慎也	紫波一中 1年教室	1 1	タイルでオリジナルフレームづくりを体験する
11	がんづきを作ろう	細川 玲子	紫波一中 調理室	1 0	郷土料理のきりせんしょと、がんづきを作り試食
12	樋爪館の歴史を探ろう	箱崎 勝之	樋爪館跡付近	1 1	中世に栄えた樋爪館の歴史を学び、平泉文化との繋がりを学ぼう
13	赤石神社の歴史を探ろう	田村 寛仁	志賀理和氣神社 (赤石神社)	6	紫波町で最も歴史のある赤石神社の歴史や史跡を探ろう
14	日詰駅の歴史を探ろう	長澤 聖浩	日詰駅周辺	1 1	日詰駅が置かれた歴史的背景と、周辺地域の歴史を探ろう
15	高水寺城（城山）の歴史を探ろう	石幡 信	走湯神社～城山 周辺	1 5	斯波氏が収めた高水寺城付近を巡り、戦国時代の歴史を探る
16	紫波の先人、ゆかりの地を巡ろう	内城 弘隆	日詰地区先人ゆかりの地	1 5	巽聖歌・橋本善太など紫波の先人ゆかりの地を巡る先人学習
17	発掘現場を見学し、発掘体験をしよう	鈴木 賢治	赤石小学校発掘現場	1 1	赤石小発掘現場での発掘体験を通して、歴史を体験的に学ぶ
18	陣ヶ岡・蜂神社の歴史を探ろう	生内 正昭 山崎 純醒 門ノ沢 邦夫	蜂神社付近	1 0	陣ヶ岡・蜂神社近辺を巡り、古代～中世の歴史を体験的に学ぶ
19	日詰商店街の活性化を目指して	(株)よんりん舎	(株)よんりん舎	1 1	日詰商店街活性化を目指して取り組む活動を実践的に学ぶ
20	古館地区の地域づくりを進める	"NPO 法人 古館まちづくりの会"	古館公民館等	1 0	人口が急増した古館地区の地域づくりを担っている活動を体験的に学び、新しい公共を理解する
21	誰でも集う「地域社屋」「地域社食」	(株)くらしすた不動産	つばめ倉庫	1 4	様々な業種が集う地域社屋・地域社食を進める新たな働き方について体験的に学ぶ

(2) 各講座の様子

① 秋祭りの舞台裏を体験しよう（前年度より継続）



※ 日詰秋祭りの4つの山車小屋を巡り、祭典実行員会の活動を体験的に学ぶことができた

② 郷土芸能平沢鹿子踊りを体験（前年度より継続）



※ 赤石地区の伝統芸能「平沢鹿子踊り」の歴史や踊りを知り、衣装の着付けや踊りの体験ができた

③ 講談を体験しよう（前年度より継続）



※ 講談で使う「はりせん」を作成し、紫波町の歴史に関する「講談」を練習し発表した。

④ 酒蔵を巡り、酒かすケーキをつくろう（前年度より継続）



※ 杜氏から酒かすの効用について学び、及川講師の指導で酒かすケーキ2種類をつくり試食した

⑤ MYカップをつくろう（前年度より継続）



※ 南部美濃焼（陶芸）を行っている講師から、陶芸の基本を学び、オリジナルのカップを作成した

⑥ フォトフレームをつくろう（新規事業）



※ 建具を制作している講師から基本的な工程について学び、フォトフレーム制作体験ができた

⑦ 藍染オリジナルハンカチをつくろう（前年度より継続）



※ 藍染（草木藍染）の手法について講師から学び、藍染ハンカチを作成する体験ができた

⑧ “伝統工芸「木目込み人形」(新規事業)



※ 伝統工芸の歴史について学び、木目込み人形「干支(蛇)」の作成体験ができた

⑨ いわて発マールアート体験(前年度より継続)



※ 岩手発祥「マールアート」について知り作成することでクラフトの新しい流れを学んだ

⑩ タイルアートでデザインしよう(前年度より継続)



※ 様々なタイルを選択し、オリジナル作品を作成することで、タイルの新たな活用法を学んだ

⑪ がんづきをつくろう (前年度継続)



※ 郷土料理のがんづきときりせんしょをつくり、紫波の郷土料理について知ることができた

⑫ 樋爪館の歴史を探ろう (昨年度フィールドワークとして実施)



※ 樋爪館を中心とする中世の歴史を学び、史跡を巡りながら体験的に学ぶことができた

⑬ 赤石神社の歴史を探ろう (昨年度フィールドワークとして実施)



※ 歴史ある志賀理和氣神社（赤石神社）のいわれや歴史的背景を体験的に知ることができた

⑭ 日詰駅の歴史を探ろう（フィールドワーク新規事業）



※ JR 日詰駅が現在の場所に建てられた歴史的背景と、日詰駅の役割について体験的に学んだ

⑮ 高水寺城（城山）の歴史を探ろう（昨年度フィールドワークとして実施）



※ 斯波氏が治めた高水寺城を中心とした中世～戦国時代の歴史について体験的に学んだ

⑯ 紫波の先人、ゆかりの地を巡ろう（昨年度フィールドワークとして実施）



※ 橋本善太・巽聖歌など紫波の先人ゆかりの地を巡り、先人の功績や想いについて体験的に学んだ

⑰ 発掘現場を見学し、発掘体験をしよう（フィールドワーク新規事業）



※ 調査中の発掘作業場で実際の発掘体験をすることで、発掘作業の内容や当時の歴史について学んだ

⑱ 陣ヶ岡・蜂神社の歴史を探ろう（昨年度フィールドワークとして実施）



※ 蜂神社近辺を巡り、古代から中世における陣ヶ岡を中心とする歴史について体験的に学んだ

⑲ 日詰商店街の活性化を目指して（新規講座 新しい地域づくり）



※ 日詰商店街の賑わいを進める「よんりん舎」の活動について体験的に学んだ

⑳ 古館地区の地域づくりを進める（新規講座 新しい地域づくり）



※ 古館地区の新たな地域づくりを進めている NPO 法人の活動を体験的に学んだ

㉑ 誰でも集う「地域社屋」「地域社食」（新規講座 新しい地域づくり）



※ 様々な業種が集う地域社屋・地域社食を進めている「ツバメ倉庫」を訪問し、体験的に学んだ

4 成果と課題（次年度に向けて）

(1) 成果

- ・ゆうごうセミナー本来の目的を確認し、講座内容及び講師を見直すことで、講座内容の充実と新たな地域講師の参加が進んだ。（21講座中7講座が新たな講師）
- ・昨年度まで別日に行われていた「歴史フィールドワーク」を統合し講座数が増えた（昨年15講座⇒今年21講座）ことで生徒の幅広い学習ニーズに対応できたとともに、2回に分けて行わず1度で実施したため、生徒が計画づくりやまとめの時間を十分とることができた。また、担当教員も講師対応や引率業務等の時間が減り、負担軽減につながった。
- ・今年度「新たな地域づくり」を進めている3団体⑱～㉑を訪問し、多様な業種があることについて生徒が気付くとともに、進路について考える機会となった。

(2) 課題

- ・昨年度別個に進めていた「ゆうごうセミナー」と「郷土史学習フィールドワーク」を併せて実施したことにより大きな成果もあった反面、教職員が一人で2事業以上を担当する場合があります、講師対応が十分行き届かない講座もあった。複数の講座を対応する場合も含め、教職員の対応についてマニュアル化していくことも検討したい
- ・移動時のバス台数が不足しピストン輸送を行ったため、予定時間通りにバスが運行できず、講座の時間が短くなることもあった。今後バスを利用しないで実施できる講座を検討していくことも必要である。